

みなかみ

議会 だより

第14号

平成21年2月1日発行
(2009年)

群馬県利根郡みなかみ町

谷川連峰と肩ノ小屋

写真提供：馬場保男氏（谷川岳肩ノ小屋管理人）



定例議会（平成20年12月10～17日）

…2

平成20年度補正予算 一般会計・特別会計 ——— 3

町政を問う 一般質問6人 ————— 4

厚生・産観常任委員会
企業誘致活性化振興特別委員会 視察報告 ————— 10

教育施設等検討
特別委員会 中間報告・視察報告 ————— 13

議会の動き ————— 15

12月 定例議会

10日から17日までの8日間の会期で開催されました。
補正予算7件、条例改正・制定15件、その他4件が提出されました。

審議の結果、全ての議案を原案通り可決しました。
6人の議員が『教育環境』『医療福祉』『地域振興』『町財政』その他町の課題等について一般質問をしました。

このように
決めました。

議案

●町監査委員の選任

左記の人を推薦しました。

澁谷正誼氏（後 閑）

（全会一致同意）

— 討論の —

あったもの

●町立にはいることも園
条例の制定

反対 穂苅清一議員

認定ことも園制度は、

国による見直し論議が始まっております。来年三月までに方向性が示されます。時期尚早です。

賛成 林 一彦議員

認定ことも園は、改修工事も進んでおり、新治地区住民は、来年四月の開園を心待ちにしています。

（賛成一九 反対三 可決）

●誘致企業の優遇措置拡大に関する条例改正

反対 穂苅清一議員

誘致企業の進出には、町土地開発公社職員が用地買収や造成業務を行います。固定資産税の免除も三年で十分です。

（賛成二〇 反対二 可決）

●水道料金の統一をする
条例改正

反対 原澤良輝議員

住民の納得を得られない料金改定です。

賛成 鈴木 勲議員

安全な水を安定供給するため、改定は必要です。

（賛成一九 反対三 可決）

●水上給食センターに関する条例の改正

反対 原澤良輝議員

学校施設整備が始まったばかりであり、給食センター併設の要望も出ているのに、なぜ廃止するのですか。

（賛成一九 反対三 可決）

●にはいる幼稚園移転に伴う学校設置条例改正

反対 穂苅清一議員

幼保一元化の認定ことも園で、官から民への運営は幼児教育にはなじみません。

賛成 阿部賢一議員

次世代を担う子どもの教育環境整備事業であり、温かい目で見守っていた

だきたい。
（賛成一八 反対四 可決）

●町敬老祝金減額の条例改正

（賛成一七 反対五 可決）

※同改正案の修正動議

反対 久保秀雄議員

行財政改革行動指針に基づき見直しにそぐわない動議です。

賛成 穂苅清一議員

敬老祝金を約一割引き下げる修正案に賛成です。

反対 中村 正議員

子育て支援施策への移行は、高齢者の方々にも理解いただけると考えます。

（賛成四 反対一八 否決）

●町職員の派遣等に関する条例の改正

討論なし

（賛成二〇 反対二 可決）

- 町有地の売却
- 土地開発公社定款の一部変更
- 富士見村の合併に伴う 県市町村総合事務組合の規約変更
- 富土見村の合併に伴う 条例の改正
- 設置・運営等に関する 学童クラブ移転に伴う 条例の改正
- 赤沢スキー場利用料金 等の条例改正
- 町簡易水道事業の給水 人口統合等の条例改正
- 町水道事業の給水人口 の統合等の条例改正
- 簡易水道料金の統一を する条例改正
- 町水道事業の給水人口 の統合等の条例改正
- 町簡易水道事業の給水 人口統合等の条例改正
- 赤沢スキー場利用料金 等の条例改正
- 学童クラブ移転に伴う 設置・運営等に関する 条例の改正
- 富土見村の合併に伴う 県市町村総合事務組合の規約変更
- 土地開発公社定款の一部変更
- 町有地の売却

※以下は全会一致で可決

● 真沢地区の区画整理、

農道の整備

● みなかみ・水・環境力（

寄附金（ふるさと納税）

条例の制定

● 出産一時金増額の条例

改正

● 簡易水道料金の統一を

する条例改正

● 町水道事業の給水人口

の統合等の条例改正

● 町簡易水道事業の給水

人口統合等の条例改正

● 赤沢スキー場利用料金

等の条例改正

● 学童クラブ移転に伴う

設置・運営等に関する

条例の改正

● 富土見村の合併に伴う

県市町村総合事務組合

の規約変更

● 土地開発公社定款の一

部変更

20年度補正予算（12月補正）

項目	補正額	主な内容	総額
一般会計	1億4,338万7千円	福祉医療費 （13歳未満医療費無料化 町単独分） ／620万円 道路維持費（町道浅地坂下線）／141万8千円 諏訪峡大橋歩道補修工事／250万円 除雪費／857万4千円 就学支援事業 （新学習指導教材・子育て支援補助） ／1,670万円 水上中学校建設事業／1,390万円 など	134億817万7千円
特別会計			
国民健康保険	1億1,325万5千円	一般被保険者療養給付費 ／1億2,344万7千円 後期高齢者支援金／2,520万6千円 介護納付金／▲2,220万円 など	27億4,562万9千円
介護保険	286万7千円	電算保守委託料／286万7千円 など	17億9,436万1千円
下水道	1,980万円	圧送管布設工事（第2工区）／1,430万円 など	15億8,031万円

◇ 一般会計

— 討 論 —

賛成

原澤良輝議員

町教育委員会が行った設計コンベは「小中一体型校舎」です。一体型校舎でも十六億円できる試算もあり、水上地区学校施設整備検討委員会の報告を活かす努力をして下さい。

集中豪雨による災害復旧も含まれており、賛成です。
（全会一致可決）

◇ 国民健康保険特別会計

— 討 論 —

反対

原澤良輝議員

後期高齢者医療制度の

廃止・見直しを求める意見書は全国で六六二議会が提出しています。国保会計にもその支援のための新たな負担があります。

賛成

河合生博議員

国民健康保険を取り巻く状況は厳しいものがあり、税率引き上げも現実的に避けて通れない問題です。運営が成り立つよう町当局には早急な対策をお願いします。
（賛成二〇 反対二 可決）

◇ 老人保健特別会計

◇ 介護保険特別会計

◇ 下水道事業特別会計

◇ 水道事業特別会計

◇ スキー場事業特別会計

（全会一致可決）

鈴木

勲議員



ホッケー場改修し 公式競技に対応させては

教育長 県との連携が必要

問 町のホッケー場を人工芝に改修して、公式競技場としたら、他県から訪れる競技関係者の宿泊客の倍増や、温泉地の活性化にもつながると思いますか。

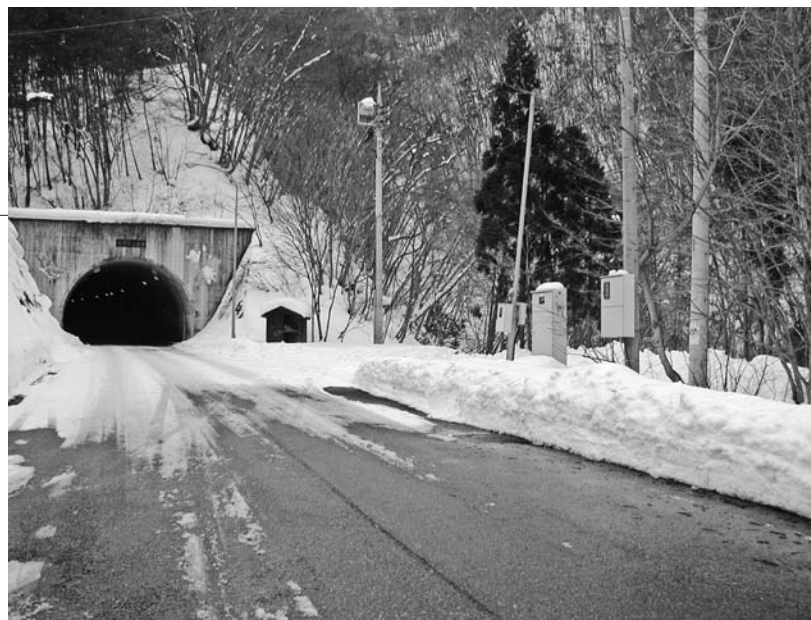
ながら、何とか実現できるように努力していきたい。

答 **教育長** ホッケー場は県内唯一の施設であり、昭和五十八年に行われた「群馬国体」の時に新設され、現在に至っています。

公式競技場にするための人工芝張り替え費用は約四億二千万円が試算され、町の財政状況を考慮すると、学校の耐震補強工事が完了した段階で検討したい。

町独自の財政ではできませんので、県と連携し

県下では唯一のホッケー場



仏岩にも水源は存在する

■仏岩トンネル湧水 赤谷簡易水道などへ有効活用を

問 赤谷簡易水道では、渇水時に濁り・臭み等で住民の苦情が絶えません。仏岩トンネル内の湧水を有効活用すれば、住民の悩みも緩和されると考えます。

また赤谷地区には千葉村もあり、年間4万人の研修宿泊客が訪れています。早急に赤谷方面にポンプアップし、取水口に流し安心安全な水の供給に努めてはいかがですか。

答 **町長** トンネル内の湧水は毎時八トン以上が確認されています。水上側に集水枘とモーターが設置されており、スイッチを入れれば新治側に送水できるようになっています。

色度臭気対策は財源の確保とともに取水位置の変更等を考慮に入れながら、現在検討しているところです。

敬老バスカード 補助の復活を

島崎 栄一 議員



町長 実態から効果薄いと判断



問 通常三千円で買えるバスのプリペイドカードが、町の補助により、お年寄りの方は二千円で買える制度でした。二千九百円で買う現在の「みなかみ町敬老バスカード」は、実質百円の割引しかなく、敬老の精神があるとは言えません。役場に行く交通費を考えれば、買いに行く価値はなくなりました。販売数が激減したことからも分かれます。実質的に廃止されてしまったのです。利根沼田で本町だけが、敬老バスカードの恩恵がなくなってしまうとしたら、利用する方は、車がない高齢者です。買い物や友達訪問、病院などに行

くためにバスに乗ります。今まで頑張って日本を支え、町をつくってきたお年寄りが元気に出かけられるよう、敬老バスカードへの補助を復活させて下さい。地域にとって大切な路線バスの支援にもなります。町民からは、ぜひ二千円に戻して欲しいという声が沢山あります。

答 **町長** 結論から言うと、賛同する気持ちにはなりません。この事業は昭和五十五年度から県の補助事業としてスタートしましたが、次のような理由から平成十七年度で県は廃止をしています。

①高齢者が増えても利用者は減少し、利用促進の効果が見られない、②バスカードの割引率が全国でも高いレベルにある、③この様な制度を実施している都道府県がない、等をあげています。

町では自己負担二千九百円・町負担百円でこの事業を継続しています。町が百円負担することによって千三百五十円の補助効果があり、四千三百五十円まで利用できます。これは都市部の利用に比べ大幅な割引率となっているからであり、その割引率は五〇％で、利用者に大きく寄与しています。

穂 刈 清 一 議 員



幼保教育は国の責任

民営こども園はまだ早いのでは

教育長 主要業務部分を町で行えば

問 須川小学校を大改装し、認定こども園の準備が進んでいます。

この法律が出来て二年、県内ではまだ十二万所の開園です。国は、いま見直し作業中です。規則緩和で民間企業の参入をしやすくする動きの中で、認定こども園をいち早く進めるのは、拙速ではないですか。

国が責任を持つべき幼児教育と保育行政を、経費削減といって民設民営にしているのかお聞きします。

答 **教育長** 町としては、

幼児教育施設を民営化で進める方が良いのではないかと思えます。民営であっても、入園審査、保育料決定と徴収、補助

金申請等は、今後も町が取り扱うことが良いと考えています。



旧須川小学校舎の改装により整備が進む

■国民保険制度
滞納者に対する本町の対応は

問 町民の生命を守るうえで欠かせない国民健康保険は、かつて、お

年寄りは医療費無料でした。現在、高い国保料を払えない滞納世帯から保険証を取り上げることが、

国は市町村に義務づけて資格証明書を発行させています。

しかし、全国で五五十一市町村は資格証明書を発行していません。本町の実態と町長の考えをお聞きしたい。

答 **町長** 国保会計の実質収支は大幅な赤字で、基金を取り崩して穴埋めしています。国保会計への国の交付金も減額され、現在国に、制度改革を強く求めているところです。

資格証明書の発行は、現在三十一人です。合併以後は新規滞納者に発行しておりません。国民皆保険の主旨を理解していただき、分納等で資格証明書の発行者が出ないよう努めていきます。



地域防災計画 今後の推進予定は

町長 「アクションマニュアル」作成など



林 一彦 議員

問 町の地域防災計画が制定されてから一年九ヶ月が経過しました。計画にある「緊急消防援助隊」「自主防災組織」など、早期に整備することや、総合訓練などこれからの予定をお聞かせ下さい。

答 町長 平成二十一年度は「災害時アクションマニュアル」を作成し、職員や消防団、婦人会等で災害対応訓練を予定しています。また、自主防災組織を支援し、町民の災害時協力体制の強化を図ります。

問 町には、災害時に関わる情報やデータが各課ごとに存在します。これを一元化して共有すれば、有事の際の素早い対応ができると思いますがいかがですか。

答 町長 当面の課題は「要援護者対策」と「孤立集落対策」です。防災関連部局と福祉関係部局の情報共有を進めたい。

答 保健福祉課長 要援護者マップ管理システム及びネットワークを構築し、要援護者の安全

のための体制を図りたい。

問 二〇一一年の地上デジタル放送に伴い、オフトーク通信は使用できなくなり、防災無線は新たな許可申請が必要になります。これからの伝達手段として、防災ラジオなど検討していますか。

答 総務課長 地域FMラジオ局も有効な一つの手段と考えています。

答 町長 特に水上地区は、防災ラジオが良いと思います。



昨年はハザードマップが作成・配布された



避難訓練の様子（粟沢地区）

■浄水施設の老朽化 新浄水方式の導入考えているか

問 町の水道施設、特に浄水施設は、大部分が築四十年を経過しています。高度浄水処理方法や膜濾過方式を取り入れた新しい施設への転換を考えていますか。

答 町長 財政の許す限り、緊急性の高い所から整備を進めていきます。

問 一度滞納すると次回大きな金額となる現在の水道料金徴収方法を、二ヶ月に一度から旧来の毎月徴収に戻してはどうですか。

答 生活環境課長 大きな問題等が発生したら検討します。



猿ヶ京簡易水道浄水施設

原澤 良輝 議員



松枯れの増加に対し 対策はあるか

町長 重点的な保全を考えている

問 緑と森林は町の誇りですが、松枯れが目立っています。対策はどうでしょうか。

答 町長 利根沼田地域も片品村を除く全域で発生しており、みなかみ町も増加傾向にあります。

被害木が広域に散在するため、黒岩八景を含む三七五ヘクタールを「守るべき松林」として重点的に保全していきたい。



(右)専用シートでマツクイムシを駆除する
(上)松林をいかに被害から守るか

■町長印の管理は万全か

問 旧伊香保町や京都市家庭裁判所で不正に町長印などが使用され、裁判になっていきます。町民の心配もあり、町長印の

管理はどうなっていますか。

答 町長 重要文書に使用する町長印は一個で総務課長が保管しています。

■水上地区小中一貫校
なぜ特区申請をしなかったのか

問 水上地区学校施設検討委員会は「同一校舎新築による小中一貫校として新設する」と報告し、町も水上小中設計コンペを実施し、採用業者を決定しています。

答 町長 町の小中一貫教育は六・三制の枠組みの中で実施するため、現状の学校経営と変わらないので特区申請をしな

問 昭和五二年前後に建設した町営住宅はガスの配管が古くなり、一部使用できない事例もあります。ガス漏れの危険はありませんか。

答 町長 建設から三十年以上が経過し、少々老朽化しましたが、ガス漏れの心配はありません。

その一方で、小中一貫校の特区を文部科学省へ申請しないことを決めています。
水上中の耐震強度はこの時点で分かっており、地元と約束した小中一体型校舎は、はじめから建設しない予定だったのではないかお聞きします。



新しく生まれ変わる(水上中学校)

答 地域整備課長 質問の事例は、配管の老朽化によるものではなく、アタッチメントの相違により使用できなかったものと聞いています。

温泉地の印象決める 駅周辺の整備を



前田 善成 議員

町長 JRと協調・相談したい



答 町長 水上駅等の整備は大切です。JRと協調していく、後閑地区はまちづくり交付金事業で行います。上牧駅は三回の地元説明会で意見を伺い、要望のバリアフリー化等は今後JRと相談したい。



「陸蒸気の駅」として名が知れるようになった

問 駅の風景はその地域のイメージと重なります。温泉地の駅は、観光だけでなく文化的なものであり、昭和世代には特別な思いがあります。駅の周辺整備について伺います。

答 地域整備課長 月夜野地区の駅前整備には組み入れられていません。

問 まちづくり交付金事業で、月夜野地区の駅整備や地域活性化文化事業の活用を考えていますか。

答 観光商工課長 要望は伺っていますが、県からは、まだ設置されていない乗降数の多い駅から優先的に整備していきたいと聞いています。

問 ローカル線の中之条駅が設置できたので、検討して欲しい。

答 特別支援教育 支援団体との連携など町の対応は

「特別支援教育支援員」の地方財政措置について

背景 学校教育法の改正により、平成19年4月からは小中学校等に在籍する教育上特別の支援を必要とする児童生徒等に対して、障害による困難を克服するための教育を行うことを明確に位置づけられた。

通常の小・中学校における障害のある児童生徒へのこれまでの支援状況

- ・特殊学級、通級指導対象者の増加
- ・LD、ADHD等の発達障害のある児童生徒への教育的対応の必要性
- ・児童生徒の障害の重度、重複化

これら通常の小中学校において障害のある児童生徒に対して支援を行う者について「特別支援教育支援員」という広い概念で整理し、地方財政措置が行われる。

＜特別支援教育支援員の業務内容の一例＞

- ・学校教育活動上の日常生活の介助・・・食事、排泄などの補助、車椅子での教室移動補助など
- ・学習活動上のサポート・・・LDの児童生徒に対する学習支援、ADHDの児童生徒等に対する安全確保など

＜交付税措置の概要＞

措置時期	平成19年度より
平成19年度措置総額	約 250億円（市町村分）
単位費用積算基礎	小・中学校の学校数を測定単位として、1校あたり840千円が基準財政需要額へ算入
特別支援教育支援員数	平成19年度 21,000人相当 平成20年度 30,000人相当（全公立小中学校数に相当）

問 支援員と社会福祉協議会との連携は考えていますか。

答 町長 必要な制度であり、現状を把握し、どのように対応するかを検討していきたい。

視察報告

11/26-27 報告：委員長 本多秀律

最新鋭の浄水施設

東京都水道局朝霞浄水場（埼玉県）

幼保連携の取組み

西方なかよし子ども園（栃木県）

最新鋭の浄水施設

朝霞浄水場

朝霞浄水場は、東京最大、日本で二位の処理能力を持っています。

本町の四つのダムの水が、オゾン、活性炭を組み合わせた高度処理を行う事で、五〇%の都民においしい水だと言われています。環境とテロ対策のために、池の上に二七〇戸分の発電が可能な太陽パネルを設置しています。給水原価はト当り二一〇円でした。



浄水場全景 細かい格子状のパネルは太陽電池



(右)水道管の実物を展示
(上)浄化の仕組みを実験を交え説明

幼保連携の取組み

西方なかよし子ども園

児童百六十三名、職員一七名の幼保連携型の取組みに触れました。

職員の効率化、保護者が就労に関係なく利用できる利点や、幼稚園と保育園の指導法の違い、保育士以外に教諭資格の必要性が生じる事などの悩みも見られました。
また、入園するまでの交流の場として、子育て支援センターの必要性も強く感じました。



委員長あいさつ



園内の様子

視察報告

12/4-5 報告：委員長 小野章一

・ 情報拠点をアピール

ぐんま総合情報センター「ぐんまちゃん家」(東京都)

・ 観光地としての取組み

伊東市 (静岡県)

◆情報拠点をアピール

ぐんま総合情報センター

マスコミを使った観光宣伝、企業誘致などの情報の拠点として開設されました。何をメインで売り込み、マスコミに情報を提供するかの攻めの姿勢を学びました。

また、十九日には、みなかみ町のイベントが開催されました。



二階入口付近



十九日は町のイベントが開催された
(上)正面玄関 町職員がPR活動
(左)イベントの様子

観光コンセプトを意識したデザインのトイレ「磯菊の詩野箱」



◆観光地としての取組み

伊東市

市観光基本計画は、事業者、市民、行政が共有する計画で、三年ごとに見直し、観光振興に活かしています。

特に「町を愛する心、もてなしの心、市民と観光客の交流を奨める」を基本に活動し、自然歴史案内人や、三十三ヶ所ある観光トイレ設置(すべて固有の名称がつけられている)の取組に活かされています。

老舗旅館の建物を転用して資料館として活用(二点とも)



視察報告

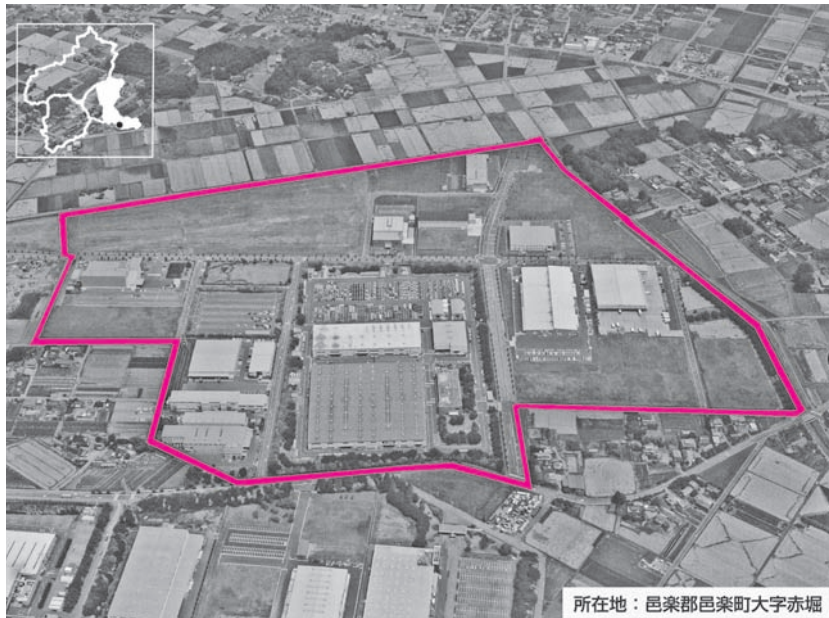
11/20 報告： 委員長 森下 直

工場誘致の実例

鞍掛第三工業団地（邑楽町）

処理場の保全

今市クリーンセンター（栃木県）



鞍掛第三工業団地（赤線で囲われた部分）
※群馬県発行「群馬企業立地のご案内」より

所在地：邑楽郡邑楽町大字赤堀

◇工場誘致の実例

鞍掛第三工業団地

鞍掛第三工業団地では、分譲内容・価格、用水設備、電力、通信、優遇制

度などの説明がありました。今後、県関係部署との連携を取りながら、みなかみ町企業誘致への協力をお願いしました。

◇処理場の保全

今市クリーンセンター

町にもゴミ処理場跡地があり、今後の企業誘致のため、ベストの方法を検討する事を目的として、今市クリーンセンターを視察しました。

同センターは、過去に大雨による増水で、埋め立てられたゴミが流出する事故がありました。県の指導により復旧工事を実施し、県環境整備課などがダイオキシンなど二十六項目の水質調査を行い、安全性を確認した等の説明を受けました。



(上) クリーンセンター外観
(下) クリーンセンター前にて



説明を受ける

みなかみ町教育施設等の整備のあり方について (抜粋)

① 保育園・幼稚園について

みなかみ町内の保育園・幼稚園については、幼保一体型施設等のことも園を検討し、将来的には民営化による運営を目指すこと。

② 小学校について

小中一貫教育を推進できるような学校配置を検討すること。

③ 中学校について

学校施設の安全性の確保を優先し、将来的な中学校のあり方等について調査研究を行うこと。

その内容等については、基本的には各地域にそれぞれ一校を存続することが望ましいことだが、今後の少子化等を考慮すると、将来的には統合を検討する中で、町内一校の中学校運営に向けての調査研究を推進すること。

以上、中間報告いたします。

年齢\学区名	古馬牧	桃野	月夜野北	藤原	幸知	水上	新治	計
0歳	30	25	10	0	6	19	28	118
1歳	43	18	3	4	1	19	42	130
2歳	33	15	9	3	6	21	25	112
3歳	47	28	6	2	10	21	33	147
4歳	45	25	6	4	6	23	41	150
5歳	46	28	8	2	6	24	42	156
6歳	38	30	7	2	8	35	48	168
計	282	169	49	17	43	162	259	981

町内学区別・年齢別
出生状況表
(単位：人)
※平成二十年四月現在



視察報告 11/12

社会福祉法人三峰会
月夜野保育園 (月夜野)
社会福祉法人子育て会
子育て保育園 (昭和村)



両園とも、民設民営であり、理事長のもと役員一丸となつて、より良き保育のあり方と健全経営の両立を目指して、日々努力されていることが感じ取れました。

少子化の中、地域における保育園の果たす役割が、より大きくなつており、子育て支援においても就学前幼児教育の充実と合わせて取り組む必要を強く感じた視察でした。

平成
21年度

小・中学校に入学する 家庭を支援します

町では、急速に進む少子化の背景を踏まえ、「みなかみ町子育て支援条例」を制定し、子育て家庭の支援に取り組むこととなりました。

町では、この条例の制定を受け、少子化対策の一環として、みなかみ町在住で町内の小中学校等（特別支援学校、中高一貫校を含む）に入学する児童生徒の保護者の方々に対して、入学時にかかる費用の軽減を図ることを目的に、入学支援を実施します。

今回は、みなかみ町商工会で発行しております「商品券」を、小学校入学2万円・中学校入学4万円分交付いたします。



詳細はお問い合わせ下さい。

役場保健福祉課
福祉・窓口グループ
☎25-5009(直通)

みなさんからの 請願・陳情 審査結果一覧

No.	受理年月日	件名	提出者	付託委員会	審議結果	
請願	9	20.11.11	全額国庫負担による最低保障年金制度創設を政府に求める	前橋市桶越町183-4 全日本年金者組合 群馬県本部 執行委員長 小崎洋一郎 ほか1人	厚生	不採択
	10	20.11.18	後閑稗田地区筆界未定地解消について	みなかみ町後閑5 後閑区長 石坂恒雄 ほか13人	産業観光	採択
陳情	6	20. 8.25 (継続審査分)	湯宿温泉に所在する旧新治村保健センター施設を認知症対応型共同生活介護施設（グループホーム）として活用させていただきたい	みなかみ町布施71-2 NPO法人みんなの太助さん 理事長 永井公司 ほか9人	厚生	趣旨採択

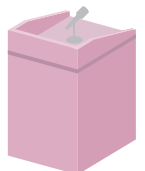
議会だより編集委員会

- ◆委員長 林 一彦
- ◆副委員長 阿部 賢一
- ◆委員 前田 善成 原澤 良輝
- 河合 幸雄 本多 秀律

議会を傍聴してみませんか？

- ◆3月の定例会は、**6～19日**を予定しております。
- ※なお、会期は、定例会開会日に決定します。

—お問い合わせは— 議会事務局まで
☎25-5023(直通)



議会の動き

*平成20年11月～平成21年1月

1(土)	昭和村合併50周年記念式典
2(日)	第4回みなかみ町文化祭(～3日) 水上農業まつり
4(火)	議会全員協議会 企業誘致活性化振興特別委員会 水上地区学校施設等検討委員会
5(水)	郡正副議長・正副常任委員長・事務局局長研修会
7(金)	議会広報研修会
9(日)	新治農業まつり
11(火)	郡定例議長会 学校組合議会
12(水)	教育施設等検討特別委員会視察(昭和村・月夜野)
13(木)	議会全員協議会 企業誘致活性化振興特別委員会 産業観光常任委員会 厚生常任委員会 環境力推進委員会委嘱式 環境ポスター表彰式
11月	ホッケー全国大会出場選手壮行会
14(金)	老人クラブ連合会新治支部芸能発表会
15(土)	利根商業高等学校峻嶺祭
17(月)	遺族の会利根郡支部研修会
18(火)	「天地人」作家火坂雅志氏講演会
19(水)	町村議会議長会全国大会(東京)
20(木)	企業誘致活性化振興特別委員会県外視察(邑楽町・栃木県) 水上支所管内冬季交通対策本部設置会議 みなかみ祭り運営委員会
21(金)	町障害者施策推進協議会 小口資金融資審査会
23(日)	利根沼田青少年柔剣道大会・50周年祝賀会
25(火)	誘致企業訪問調査(愛媛県/～26日) 教育施設等検討特別委員会 広域圏組合議会定例会
26(水)	厚生常任委員会県外視察(埼玉県・栃木県/～27日)
27(木)	藤原湖マラソン大会コース検討会議
28(金)	誘致企業進出基本協定調印式

1(月)	資源リサイクルセンター運営委員会
2(火)	新三国トンネル早期開削要望活動(東京)
12月	3(水) ふれあい交流会 議会運営委員会 議会全員協議会 町有地管理調査会

4(木)	産業観光常任委員会県外視察(東京都・静岡県/～5日)
6(土)	水上高原スキー場安全祈願祭 天神平スキー場安全祈願祭
8(月)	協働のまちづくり委員会
9(火)	第8回みなかみ町議会12月定例会(開会日)
10(水)	第8回みなかみ町議会12月定例会(一般質問)
11(木)	常任委員会
13(土)	宝台樹スキー場安全祈願祭
15(月)	教育施設等検討特別委員会
16(火)	県畜産共進会祝賀会
17(水)	都市計画審議会 第8回みなかみ町議会12月定例会(閉会日)
18(木)	ノルンスキー場安全祈願祭 小口資金融資審査会 谷川岳エコツーリズム設立準備会
19(金)	スキーリゾート&そばまつり(東京)

6(火)	県議会新春交流会 上毛新聞社新年交歓会
8(木)	議会だより編集特別委員会
9(金)	沼田警察署初点検 利根沼田農業協同組合新年祝賀会
11(日)	県中学校総合体育大会スキー大会 町消防団出初め式 町成人式
13(火)	郡定例町村会 郡定例議長会
14(水)	協働のまちづくり委員会 群馬県市町村トップセミナー
15(木)	町新年賀詞交歓会
1月	16(金) 議会だより編集特別委員会
18(日)	町子供会かるた大会
19(月)	総務文教常任委員会県外視察(静岡県/～20日) 291号線整備促進期成同盟会
20(火)	町婦人会新年会
21(水)	議会運営委員会 水上地区学校施設等検討委員会
22(木)	FMOZE新春を祝う集い
23(金)	議会全員協議会 議会だより編集特別委員会
27(火)	町小中学校スキー大会
28(水)	町障害者施策推進協議会
30(金)	水上高原リファインオープンパーティ 町身障者福祉連合会新年会
31(土)	上毛新聞社旗争奪ゲートボールGB選手権大会



月夜野スポーツクラブ

会長 石倉和雄 (上石倉)



文部科学省委託事業 群馬県体育協会総合型クラブ 設立準備特別支援委託事業

みんなで楽しむ 総合型地域 **スポーツクラブ**

月夜野スポーツクラブ

Q. 総合型スポーツクラブってなあ〜に？

A. 住民が割り、地域で育てる 総合型地域スポーツクラブです。

「誰でも」「いつでも」「世代を超えて」「好きなレベルで」「いろいろなスポーツを」楽しめる地域のコミュニティとして、総合型地域スポーツクラブが全国各地で誕生しています。運営は、地域住民のみなさんのアイディアを持ち寄って行われています。そのためクラブごとに特色があり、メンバー構成や実施される種目もさまざまです。一人一人が、いろいろな立場で関わり、支えていくクラブです。

活動種目 カヌー、ホッケー、フリークライミング、スキー 他

スタッフ募集 私達と一緒に運営・活動を支えるボランティアスタッフを募集しています。指導の種目は問いません。スポーツを通じて地域づくりの輪を広げるためにご協力をお願いします。

お問い合わせ先 月夜野スポーツクラブ事務局 0278-72-3494
〒379-1311 利根郡みなかみ町石倉317

気軽にスポーツをしよう!

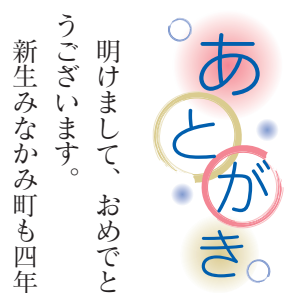
来年度の活動開始に向け準備が進む

国の「スポーツ振興基本計画」で、全国の各市町村に一つ以上の総合型地域スポーツ育成という目標があります。国は、県・市町村体育協会との連携と協力で、住民による地域づくりを支援しています。

民の誰もが集い、技術・体力に応じて活動できるクラブです。多くの住民が会員になり、会費を負担することで財政基盤も整い、地域住民が運営するクラブです。

現在、県内十九市町村三〇クラブが活動しています。月夜野スポーツクラブは平成十九年、二十年度は設立準備委員会として、

「こころやからだ」の健康で豊かなライフスタイルをつくり、夢や生きがいのクラブとして、ホッケー、クライミングウォール、スキー、ローラー、カヌー、陸上競技など、地域の環境や特徴を生かしたスポーツ教室の開催や指導者の研修など実施してきました。



スポーツは人々の「こころやからだ」の健康で豊かなライフスタイルをつくり、夢や生きがいのクラブとして、ホッケー、クライミングウォール、スキー、ローラー、カヌー、陸上競技など、地域の環境や特徴を生かしたスポーツ教室の開催や指導者の研修など実施してきました。

ある社会づくりに重要な役割があります。二十一年四月の設立に向け、準備委員会では、いつでもどこでも、誰でも、より多くの人が生涯を通してスポーツを楽しめるクラブづくりに取り組んでいきたいと思っています。

前田善成